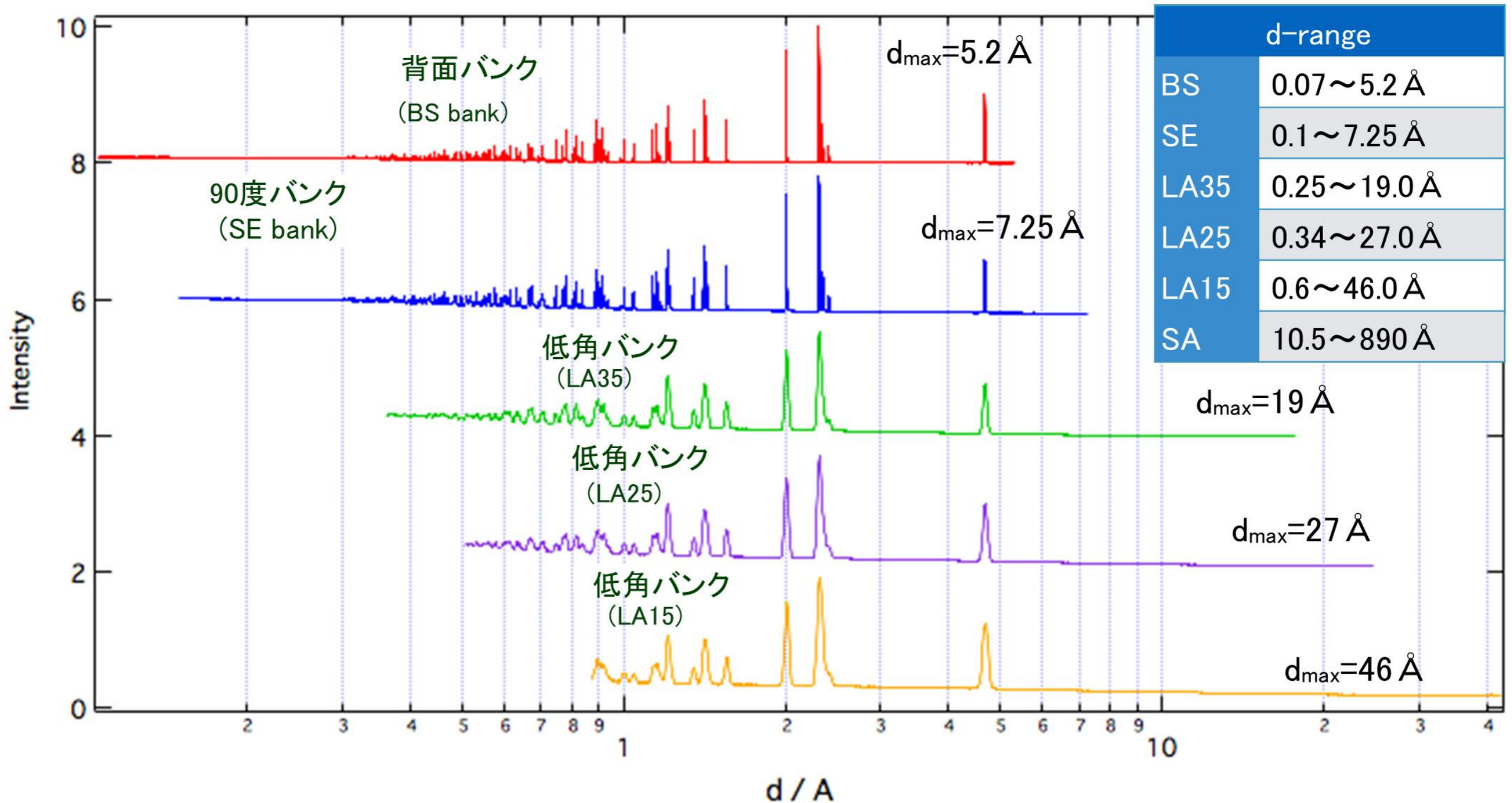


2-1 高分解能粉末回折機能(基本的な機能)

4つの検出器(BS,SE,LA,SA)バンクが カバーするQ、d領域



2-2 全散乱検出器配置利用(集合組織)

自動車用高強度鋼板や電磁鋼板などの加工集合組織(結晶配向状態)を高速測定

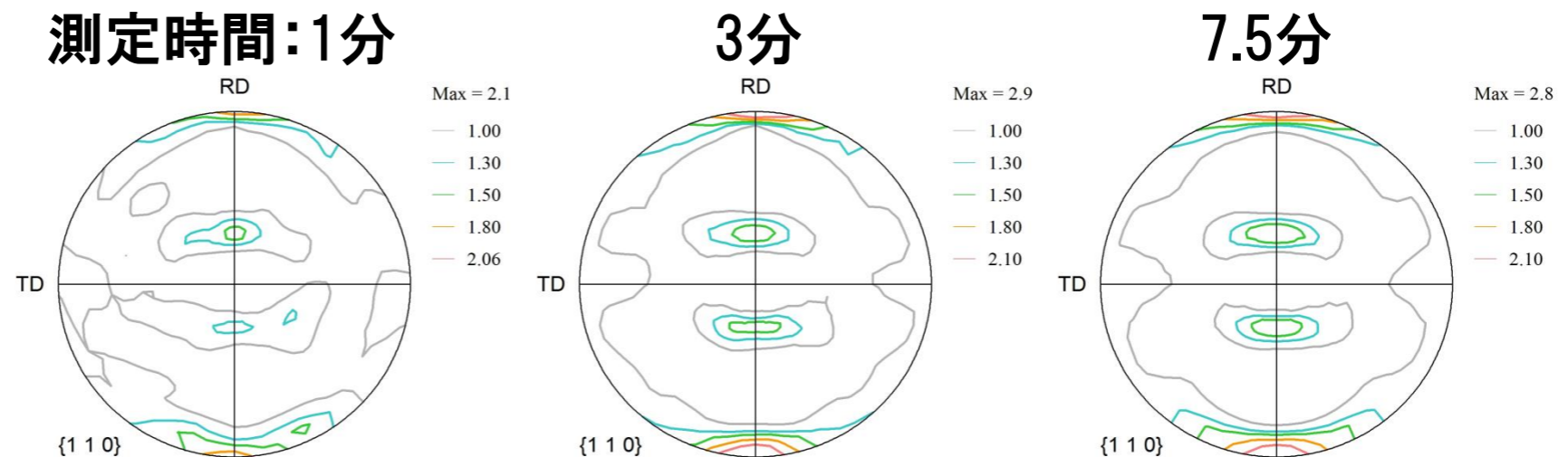


EBSD: Electron Back-Scatter Diffraction

- X線やEBSD*に比べ1/100以下の短時間(3分程度@500kW)で測定
- X線やEBSD*では困難なバルク平均状態の情報取得可能

鋼板(bcc相)の測定例

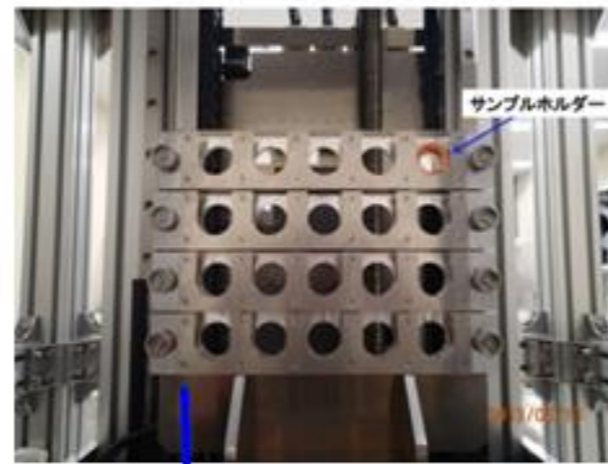
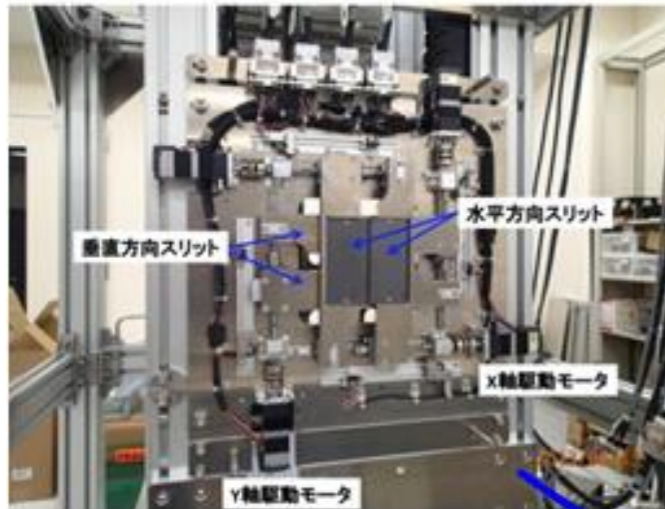
測定時間3分以上で不変な極点図が作成が可能



2-3 小角散乱機能(基本的な機能)

茨城大学 小泉智教授

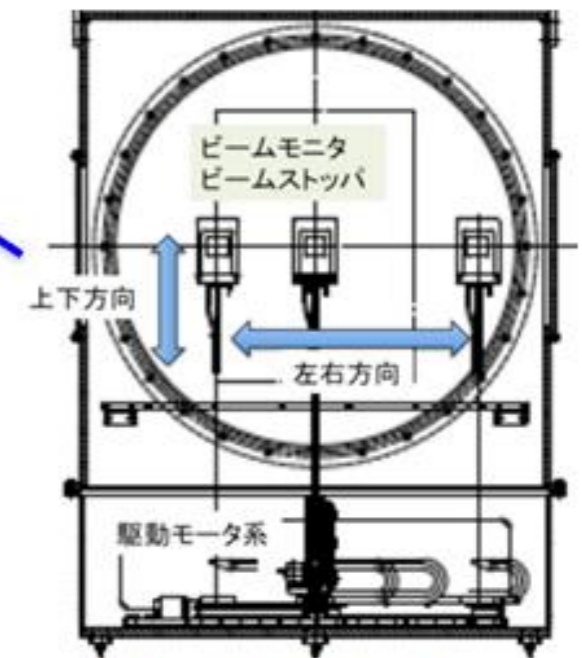
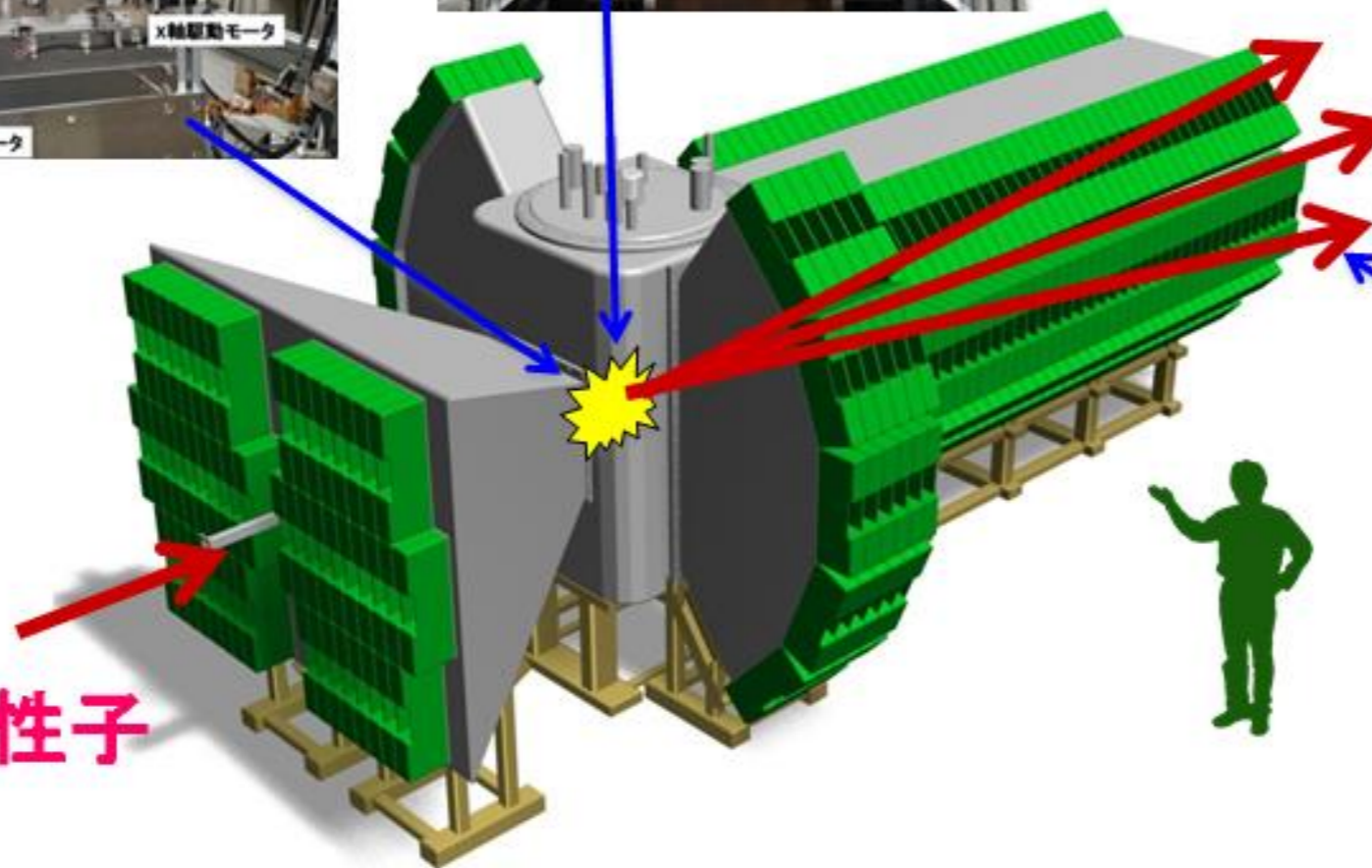
4象限スリット



5x4試料ホルダー

小角散乱

入射中性子



ビームモニター

- ・ビームモニタ(N_2 ガス)で透過率を評価
- ・バックグラウンド補正を実施

小角散乱用セルと自動交換機



試料セル(アルミ)



試料周辺は真空
40個のサンプル
を保持可能

試料自動交換機